



2026/04/10

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団（日本 GIF）  
オンラインセミナー  
「南極の過去から何がわかるのか—地球規模で考える気候変動と海面上昇—」  
開催のご案内

気候変動に伴う海面上昇は、日本 GIF が近年研究フィールドとしている太平洋島嶼国にとって、現在進行形の切実な問題です。海面上昇リスクの評価精度を高めるには、地域ごとの現象だけでなく、海面変動をもたらす地球規模の仕組みを、長い時間軸の中で捉える必要があります。とりわけ南極は、将来の海面上昇を考えるうえで、きわめて重要な鍵を握る場所です。

本セミナーでは、国立極地研究所教授・総合研究大学院大学教授の菅沼悠介先生を講師にお迎えします。菅沼先生は、第四紀地質学、古気候・海洋学、古地磁気学を専門とし、南極氷床や海底堆積物、海水準変動をめぐる研究の第一線で活躍されている、この分野を代表する研究者の一人です。菅沼先生の研究者としての歩みや、南極内陸部での過酷なフィールド調査の実体験にも触れていただきながら、なぜ南極での調査が必要なのか、そこで何がわかるのかを平易に解説していただきます。

菅沼先生の最新の研究成果である「ティッピング・カスケード（連鎖する氷床融解メカニズム）」は、ある地域で始まった氷床融解が海洋を通じて別の地域の融解を促し、変化が連鎖的に加速しうる可能性を示しています。南極の環境変動を、人間の想像を超える長い時間スパンの中で解明する研究成果を、気候変動予測や海面上昇への適応策、防災、インフラ整備、さらには将来の政策判断にどのように活かしていけるのか。自然科学と社会的課題をつなぐ視点から、その可能性と課題を検討します。

本セミナーは、気候変動、海面上昇、島嶼地域、南極、防災、社会基盤、国際協力に関心をお持ちの方に広くご参加いただきたい内容です。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

**開催日時：2026年5月15日（金）14時～15時半**

**開催方式：Zoomを使用したウェビナー（オンラインセミナー）**

☆事前のご登録を下記よりお願いいたします。

参加費：無料、どなたでもご参加いただけます。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_COWYC4DhQTejSnD0Ev7MxQ](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_COWYC4DhQTejSnD0Ev7MxQ)

※Zoomの仕様上、お名前を日本語で入力されると、ご登録確認メール記載の姓名が逆転いたします。ご容赦いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※当日ご都合がつかない場合でも、事前登録をいただいた方には、後日アーカイブ動画（録画）の公開についてご案内をお送りいたします。ぜひご登録ください。

※受講証明書の発行をご希望の方は、セミナー終了後のアンケートフォームよりご連絡ください。

#### 菅沼 悠介（すがぬま ゆうすけ）氏プロフィール



国立極地研究所 地圏研究グループ 教授。2002 年東京都立大学大学院理学研究科修士課程、2005 年東京大学大学院理学系研究科博士課程を修了。産業技術総合研究所ポスドク研究員、東京大学大学院理学系研究科特任助教、国立極地研究所助教などを経て、2023 年より現職。地質学および古地磁気学が専門。南極地域観測隊に 7 回参加し、南極氷床上で 150 日以上のキャンプ経験も持つ。千葉県市原市の地層「千葉セクション」の GSSP 認定とチバニアの誕生を推進した研究グループの中心メンバーでもある。